

広島大学病院 エイズ医療対策室 内線5351/5581(輸血部長室)
Internet:www.aids-chushi.or.jp

ご案内

平成21年度 第4回エイズ拠点病院 オープンカンファレンスのご案内

日時：平成22年2月24日（水）18：00～19：10（予定）
場所：広島大学病院 外来棟中会議室（3階）

エイズ治療拠点病院医療従事者サンフランシスコ研修報告(18:00～)
報告者：柴 秀樹（歯科診療科 歯科医師）
関野由希（薬剤部 薬剤師）

講義「広島大学病院のHIV感染者の現状」（18:40～）
担当：高田 昇（輸血部・エイズ医療対策室）

症例検討(18:50～)
担当：藤井輝久（輸血部）

共催：広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島県
対象：広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院の医療スタッフ、
広島県臨床心理士会、広島県行政担当者等

事前申し込みは不要です、直接会場へお越し下さい。
お問い合わせは、エイズ医療対策室（内線5351）まで。

目次：

平成21年度 第4回エイズ拠点 病院オープンカンファレンスご 案内	1
『飲み合わせチェック！Ver.5』 を発行しました。	1
第23回日本エイズ学会に参加 して	2
広島大学病院のHIV感染者の 現況報告	2



ご案内

『飲み合わせチェック！Ver.5』を発行しました。

『飲み合わせチェック！ - HIV
関連薬の相互作用Ver.5 -』を
厚生労働省の研究班の事業と
して発行しました。

HIV感染症や併発疾患の治療
薬は増えています。全ての薬
の組み合わせが試されて発売
されたわけではありません。
これからも新しいデータが加
わる可能性があります。実に地
道ですが、安全で有効な薬物療法を達成するために
必要な努力の積み重ねです。



「この薬とこの薬は一緒に飲んでも大丈夫だったか
な？」とわからなくなったとき、この冊子で“飲み
合わせチェック”してください。

抗HIV薬を処方する医師、調剤や服薬援助をする
薬剤師、支援者そして患者さんのお役に立てれば喜
びです。是非ご活用頂き、ご利用になったご感想や
ご意見をお聞かせ下さい。

（エイズ医療対策室長 高田 昇）

この冊子をご希望の方は、エイズ医療対策室
までご遠慮なくご連絡ください。（内線5351）

ご報告 「第23回日本エイズ学会に参加して」 6階西病棟 看護師 宮原明美

私自身は久しぶりの学会参加でしたので楽しく有意義な時間でした。自部署の病棟勤務ではHIV/AIDS患者さんに接する機会も皆無に等しいので、特にコミュニティ活動の熱気には新鮮な感動を覚え、今後も、看護部のエイズワーキングメンバーとして自分ができる事は頑張ろうと奮起した今日この頃です。

そして個人的には、鬼塚直樹さんの「ACTION Program-エイズ拠点病院海外実地研修サンフランシスコ看護師コースからの報告」の発表を聞き、自分も、過去12年間190名の看護師参加者の一人として、エイズや同性愛に対する偏見を持たず一人一人

のQOLを高める医療・看護を提供できるよう御指導下さった研修関係者の皆様に改めて感謝の気持ちで一杯になりました。

私は平成15年の参加でしたが、この研修に参加した北海道から名古屋方面までのメンバーとは今もエイズ学会での再会や年賀状つながりで不思議なご縁を感じています。

広島大学病院は中国四国ブロック拠点病院なので、今後も研修参加者およびワーキングメンバーが増員され、活動が活性化されることを期待しています。

ご報告 広島大学病院のHIV感染者の現況報告 エイズ医療対策室長 高田 昇

2009年12月28日現在、広島大学病院の累計HIV感染者数は180人となりました。転居、死亡、行方不明を除いた、ちょうど101人を現在診療中です。

感染経路別では、血液製剤によるもの49人、異性間性行為男性22人、女性9人、同性間男性99人、母子間1人です。

下記の表は、初診の西暦年を5年ごとに区切り、感染経路別に示した患者数です。

近年は、全国の動向と同じで同性間性行為による男性の感染者が圧倒的です。

2009年は毎月ほぼ2人の新患があり、しかも発病状態で発見されることがありました。この調子で増加すれば2015年には累計300人、実診療数200人になるものと予想しています。

【表】広島大学病院の5年ごとの感染経路別HIV感染症新患数

	血液製剤	異性間男	異性間女	同性間男	母子間	合計
～1985	11					11
～1990	25	1				26
～1995	1	4		2杓又/に暴獵銘/		

<ご意見募集> ご意見やご希望がございましたら、

エイズ医療対策室(5351/5581)までお寄せください。